

先端計測分析技術・機器開発プログラムの推進体制

参考資料3

科学技術・学術審議会 先端研究基盤部会
研究開発プラットフォーム委員会
先端計測分析技術・機器開発小委員会(第7回)
平成25年1月29日

文部科学省(先端計測分析技術・機器開発小委員会)

基本方針を通知 ↓

↑ 自己検証結果を報告

【推進委員会】

- ・プログラムの実行方策の検討、プログラムの推進(公募、採択、評価)を一体的に担う。
- ・JST開発主監を長とし、各分科会の分科会長・領域総括や総合評価分科会委員等により構成。

【総合評価分科会】

- ・重点開発領域を除いて(領域非特定型)、課題選定・中間評価を担う。
- ・全ての開発課題の事後評価を担う。
- ・分科会長・副分科会長のほか、有識者で構成。
(領域総括、開発総括はオブザーバーとして出席)

領域非特定型の採択課題は、「開発総括」が役割分担の下で進捗管理

【開発成果の活用・普及促進ワーキンググループ】

- ・総合評価分科会の役割のうち、開発成果の活用・普及促進の課題選定、事後評価を担う。
- ・総合評価分科会委員のほか有識者で構成。

推進委員会のマネジメントの下全ての分科会は密に連携

【放射線計測領域分科会】

- ・当該領域における課題選定・中間評価※を担う。※中間評価には総合評価分科会委員が参加
- ・領域総括のほか開発総括、総合評価分科会委員、有識者で構成。

【グリーンイノベーション領域分科会】

- ・当該領域における課題選定・中間評価※を担う。※中間評価には総合評価分科会委員が参加
- ・領域総括のほか開発総括、総合評価分科会委員、有識者で構成。

重点開発領域の採択課題は、「領域総括」を中心とする分科会が当該領域全体を俯瞰して進捗管理。

【ライフイノベーション領域分科会(平成25年に新設予定)】

- ・当該領域における課題選定・中間評価※を担う。※中間評価には総合評価分科会委員が参加
- ・領域総括のほか開発総括、総合評価分科会委員、有識者(医師等の医療関係者や医療機器メーカー関係者など)で構成する予定としている。

いずれの委員会・分科会・ワーキンググループにおいても文部科学省のほか、関係行政機関等がオブザーバーとして出席